



三春中学校だより

第3号

発行日 平成30年 4月13日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【着任式、始業式、そして、入学式！ ～人生の節目を大切にします。～】

4月6日（金）は、三春中学校にとっても、一人ひとりの三春中学校生徒にとっても、大きな節目のときでありました。

朝一番、5名の先生方をお迎えし、着任式を行いました。教職員にとって、子どもたちとの出会いはとてもうれしいことではありますが、はじめての出会いはやはり緊張するもの。三春中学校の名物『大階段』に上がって、三春中学校の印象を述べたり、そこでの生活への思いを述べたりと、子どもたちと『共に』学び、『共に』成長していく、三春中学校での生活のスタートをきりました。

入学式は、93名の新入生を新たに迎え、吹奏楽部の歓迎の演奏で新入生を迎えた後、新入生呼名、校長式辞、迎える言葉、来賓祝辞、歓迎の言葉、誓いの言葉、三春中讃歌・校歌披露と式は進みました。三春中学校5年の歴史に、新たなページを加えるような大活躍を心より期待したいと思います。



「93名の新入生に期待すること」（入学式式辞より）

三春中学校に入学した93名のみなさん、ご入学おめでとうございます。

平成30年度は、三春中学校創立6年目。新入生は、これまでの5年間の歩みを土台に、新たな三春中学校の1ページを刻んでいくことになります。

そのスタートにあたり、まず、第一に考えていただきたいことは、一人ひとりの『命』というものを大切にしてほしい、『命』のかけがえのなさやその重みを常に意識して生活してほしいということです。学校や教室という『公共の場』で、自分を大切にするのと同じくらい、他の人の気持ちや立場を大切にしたい学校生活を心がけていきましょう。それが安全・安心な学校生活の基本です。

三春中学校には、3つの『めざす生徒像』というものがあります。『忠恕』、『探究』、『必達』という3つです。

一つ目のめざす生徒像『忠恕』とは、ひたむきで、正直で、相手を思いやる、優しく、美しい心のことです。すべての三春中学校の生徒がめざす心です。日々の生活を、ひたむきに一生懸命過ごし、相手の悲しみや苦しみを自分のことと捉え、優しさや思いやりの心をもってください。困っている人には手を差し伸べ、「大丈夫だよ。」と言ってあげてください。三春中学校の生徒は、そんな美しく、ひたむきで、優しく、うるわしい心をもった人に成長してほしいと願います。こころ豊かに生きてほしいと思います。

次のめざす生徒像『探究』とは、物事を冷静に振り返り、自分が分かっていることと知らないことを自覚し、分からないことは調べ、人に聴き、友達と一緒に成長していこうとする気持ちと態度のことです。本物と偽物を見分ける力をつけることです。みなさんは、まだまだ成長の途中ですから、先生方には、『子どもたちの質問にしっかり答え、授業の中では、教え合い、学び合う機会をつくってください。』とお話しました。よりよく学ぶことは、よりよく生きることにつながります。

三つ目のめざす生徒像『必達』とは、『よりよくやり遂げる』ことです。3月の中学校の卒業式では、45名の卒業生に『皆勤賞』というものを手渡しました。三春中学校の『皆勤賞』は、3年間1日も休まないばかりではなく、“今日もしっかり勉強しよう”という気持ちで、先生方が準備した学習などに一生懸命取り組み、それが3年間続けられた人に伝達される、とても重たい賞です。みなさんの卒業のときには、充実感や達成感をもって、『皆勤賞』を受け取れるようがんばりましょう。そのために

は、心と体の健康に十分注意し、目標を自ら考え、努力を積み重ね、友達と共に話し合い、学び合っ
ていきましょう。少しでも、よりよいものを追い求め、ひたむきに、粘り強く活動できる力を身につ
けていってください。

三春中学校のめざす生徒像『忠恕』・『探究』・『必達』は、三春中学校のすべての生徒のみなさんが
よりよく生活していく上でとても大切なものです。常に、意識の中におき、日々のよりよい『繰り返
し』と『積み重ね』を続けていきましょう。

さて、入学した93名のみなさんに、もう一つお願いがあります。みなさんの先輩には、始業式で、
『20のがんばり』、そして、『命の輝き』というお話をしました。みなさんの先輩が、三春中学校で、
ひたむきに、こころ豊かに、続けてきた20個の『がんばり』のことです。平成30年度は、そのが
んばりを『命の輝き』と呼びます。どんなものでもいい、三春中学校の中で、『自分にはこれがある』
というもの、そんな『命の輝き』というものを見つけ、育てていってください。感謝の心であいさつ
し、スクールバスの座席を譲り合い、だめなことはだめと言ってあげ、笑顔を大切に、テストでト
ップをめざし、辛いことにこそ挑戦し、うれしいことは一緒に喜び、悲しいときには共に悲しみ、相
手のよいところを見て、勉強や部活動に歯を食いしばり、手伝いをしっかりし、地域行事に参加し、
約束を守り、『あったか言葉・励まし言葉』を使い、「ありがとう。」ときちんと伝え、花へ水をやり、
清掃に真剣に取り組みましょう。先生方にも、一人ひとりの生徒のみなさんが学校の中で光り輝き、
生き生きと充実感をもって過ごせるよう、先生方同士がコミュニケーションを積極的に心がけ、生徒
の可能性を信じ、よさを生かし、認め、励まし、生徒と共に成長していきましょうとお話しました。

しかし、疲れてしまったときは、先生や友達に、「助けて。」「うまくいかないんだ。」と相談して
みてください。そう言えることも大切な勉強です。相談すれば必ず応えてくれます。そうすることで、
相談した方も、された方も、『共に』成長していけます。みなさんは、決して一人ではないのです。

93名の新入生、231名の在校生、全校生324名の生徒と先生方が三春中学校全体でめざす目
標と、その実現にむけてこころがけることをお話しました。三春中学校のすべてのみなさんが、「今日
も楽しかった。」「一生懸命がんばった。」「三春中学校でよかった。」と言える学校となるよう心から
願います。

【全校ガイダンス実施！ ～主体的判断の拠り所として～】

4月9日（月）には、平成30年度の三春中学校での生活が主体的におくれるようにと、『全校ガイ
ダンス』を実施しました。受け身ではなく、主体的に学校生活をおくるための学習というものを象徴
するかのよう、整列隊形づくりは生徒会執行部の手に委ねられました。

その後、各担当教員より、ガイダンスのねらい、生活上の約束事、交通安全への諸注意、交流及び
共同学習のねらいや心構え、図書館の活用、健康安全面の注意事項、給食の進め方、清掃への取り組
み、SNS上の課題と留意点など、子どもたちが主体的、自主的に判断・行動できるよう、これまでの
の反省を生かしたさまざまな情報提供がなされました。

より正確で、より多く
の情報は、より適切な判
断・行動につながります。
『全校ガイダンス』
は、そのようなことにつ
いても学ぶ機会でありま
した。

